

<オンライン教学講座「報恩抄」⑤ 参考資料>

◎御書と師弟 新版

正法のために、命も惜しまず戦い抜く決然たる覚悟こそ、師に続く真正の弟子の証です。永遠不滅の妙法に生き切れば、わが生命も永遠不滅に輝きわたる。

大聖人御自身が「死身弘法」「忍難弘通」を貫かれました。師匠とは、常に弟子の模範となって先頭を走ってくださる存在です。その師匠に、無我夢中でつき切っていくと精進するのが、弟子の道であります。

自分が難を受けて立ち、師匠を厳護しよう。師匠が命がけで創ってくださった「一門」を栄えさせる礎になろう。この弟子の決定した祈りと行動にこそ、厳粛な師弟の精神が脈動するのです。逆に、恩知らずに踏みにじったならば、仏法の報いは峻厳です。

(『御書と師弟 新版』285 ページ)

◎わが愛する青年に贈る

大聖人自らが「師恩」に報じ抜くお姿を示してくださいました。そして、まことの報恩の道とは、全人類救済のために末法の大仏法を確立することであり、その大功德は師匠に還ることを断言されています。

日蓮仏法における師弟とは、かくも深く峻厳なものです。

(『わが愛する青年に贈る』87 ページ)